

# 当院では、より良い治療を行うための調査研究 「**頸椎脊髄症の手術治療成績に対する前向き多施設研究**」 を実施しています。

頸椎脊髄症は、脊椎管が狭窄することにより、脊髄または神経根の圧迫障害を来す疾患です。病態としては、年齢の変化に伴って脊椎の変性が生じる頸椎症性脊髄症や、脊柱を縦走する後縦靭帯が骨化して神経を圧迫する後縦靭帯骨化症などがあります。保存的治療で効果が得られない場合や、脊髄症状が明らかな症例には手術療法が行われます。

頸椎脊髄症において、これまでの手術成績に関する調査は後ろ向きの研究に基づくものが大半であり、今後より正確な予後予測や合併症発生率、危険因子の調査のためには、より多い症例数での前向き調査が必要です。

本研究では、慶應義塾大学およびその関連施設において、頸椎症性脊髄症に対する手術患者を対象に前向きに症例登録を行い、手術成績や合併症などを調査します。

## **調査の対象は、一部の方です。**

研究実施許可が出てから 2023 年 3 月 31 日までの期間に、当院整形外科において、頸椎脊髄症に対して除圧術または除圧固定術を行う治療を受けた方患者さんのうちの一部のかたを対象としています。

## **お名前や個人情報がでることは、一切ありません。**

収集された資料は、個人を特定でないように処理して、慶應義塾大学医学部整形外科渡邊 航太のところ集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後の試料・情報は、少なくとも研究終了報告日から 5 年または最終の研究結果報告日から 3 年の、いずれか遅い方まで保管後、全て破棄致します。

ご不明な点がありましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

## **この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。**

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2023 年 3 月 31 日までに、当院整形外科担当医にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院整形外科・担当者名 藤井 武  
電話 045-576-3000 内線 (PHS) 9916  
住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1